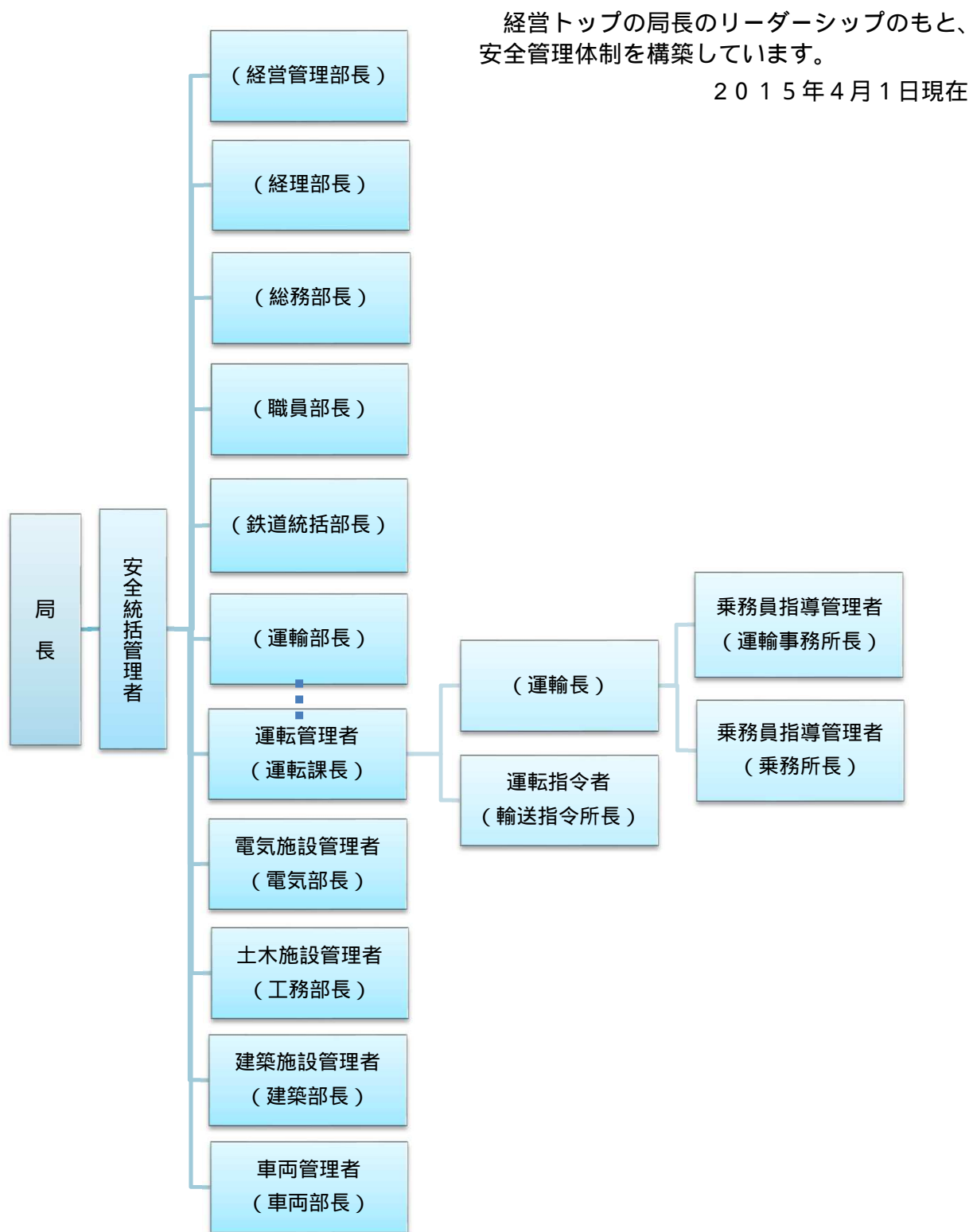


# 安全管理体制

## 安全の確保に係る体制 (安全管理体制)



● ... は、運輸部長が運輸管理者の業務を補助していることを示す

### 主な管理者とその責務

局長	・輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	・輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
鉄道統括部長	・内部監査及び輸送の安全の確保に必要な施策の推進に関する事項を統括する。
運輸部長	・安全統括管理者の指揮の下、運輸に関する事項を掌理し、運転に関する事項について運輸管理者の業務を補助する。
運輸管理者・各施設管理者・車両管理者	・安全統括管理者の指揮の下、運転、各施設及び車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	・運輸管理者の指揮の下、乗務員及び操縦員の資質の維持に関する事項を管理する。
経営管理部長	・輸送の安全の確保に必要な経営管理に関する事項を統括する。
経理部長	・輸送の安全の確保に必要な経理に関する事項を統括する。
総務部長	・輸送の安全の確保に必要な連絡調整及び広報等に関する事項を統括する。
職員部長	・輸送の安全の確保に必要な要員に関する事項を統括する。

# 安全管理体制

## 安全管理の方法

輸送の安全の確保に関する計画を策定し（Plan）、これを着実に実行し（Do）、その進捗状況の確認・検証を行い（Check）、必要な改善を行う（Act）ことを繰り返し行い、安全管理体制の継続的な改善を行うことで、各種の安全施策を進めています。

確認・検証（Check）には、当局による内部監査によるものの他に、国土交通省による運輸安全マネジメント評価があります。



## 内部監査

大阪市交通局では、毎年、安全管理体制に係る内部監査を実施しています。内部監査は安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能していることを確認し、これにより交通局の輸送の安全が適切に確保できているかを客観的に確認することを目的に実施しています。

### 2014年度重点監査事項

- 輸送の安全の確保に関する規程等の遵守状況の確認
- 2013年度運輸安全内部監査フォローアップ事項の取組み状況の確認
- 自主監査活動の有効性の確認

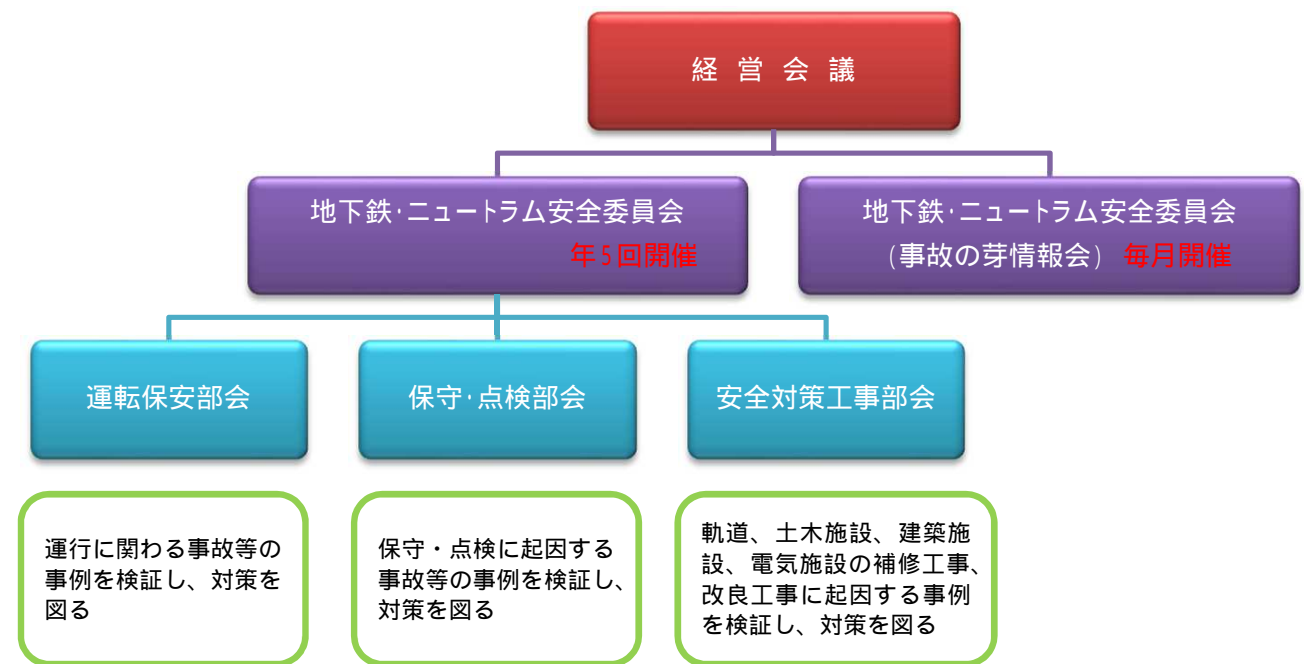


内部監査ヒアリング状況

## 安全委員会と事故の芽情報

地下鉄・ニュートラム安全委員会では、安全統括管理者のもと安全管理体制の確立を図り、地下鉄・ニュートラムの運行について一層の安全を推進することを目的とし、安全管理に係わるさまざまな検討を行ないます。

顕在化していない事故の芽（ヒヤリ・ハット、キガカリ）情報を各部に報告し情報を共有することを目的に、2012年7月から「事故の芽情報会」を設置し、毎月開催しています。



### 職員の経営参加意識の醸成（事故の芽処理の2週間ルール）

現場から寄せられる「事故の芽情報」は、放置すれば事故になる事故の芽を、小さなうちに摘み取り事故の発生を防ぐ大切なものです。現場職員から寄せられた意見や気付き、ヒヤリハット体験は、現場事務所を通して、本局管理部門に集約し、対策（設備改善やルールの見直し）を講じます。情報提供者へは2週間以内に、その対応等を回答することになっています。

また、これらの情報と対策は、毎月開催する地下鉄・ニュートラム安全委員会（事故の芽情報会）で各部に報告し、情報を共有します。

交通局では、この一連の取扱いが職員の経営参加意識の醸成に結びつくものと考えています。





# 安全管理体制

## ヒヤリハット対策費の活用による「気づき」の改善例

職員の「気づき」について、早急に対応（工事含む対策）できるように、ヒヤリハット対策費を別途設け、安全を迫り改善を図っています。

「気づき」「対策案」「安全性向上効果」を「ヒヤリハットエントリーシート」で明確にして、本部部長会で審議後、速やかに安全統括管理者の承認を受け執行となります。

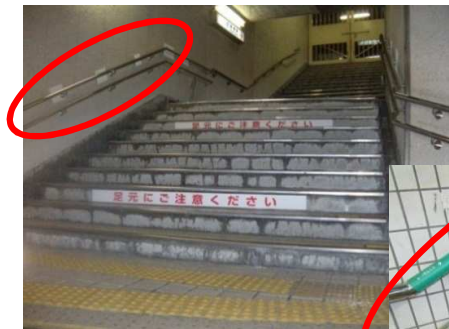
お客さまへの安全に係る2件の「気づき」と「対策」の実績を紹介します。

### 千日前線鶴橋駅 お客さまの階段における転倒対策 気づきの発信者：駅職員

昇降方向と壁が直角でなく斜め方向に階段があり、錯覚を起こして転倒されるお客さまがおられるので、2段手すりや注意喚起シールを貼ることで転倒防止効果が得られました。



改善前



改善後



ヒヤリハット対策費エントリーシート

案件名	お客さまの階段における転倒対策
場所	PS 鶴橋駅 6号出入口 階段部
概要	千日前線鶴橋駅の号出入口（JR連絡出入口）で、お客さまから多くの苦情を受けると共に、実際に、よく転倒される。
発生日時	25年度5件(7月11日・11月1日・12月10日・1月20日・2月2日) 26年度1件(4月20日)6月10日現在
原因	昇降方向と壁が直交していないため錯覚を起こす。 (別紙写真参照)
対策案	・階段側壁の既設手摺を2段手摺に変更 ・階段床面に注意喚起シールを貼る ・階段踏み面に「足元にご注意ください」を掲出 (詳細別紙参照)
対策費用(概算) (単位:百万円、消費税等含む)	5百万円
工期	8月契約～9月
緊急性	※対策を実施しないことにより発生する重大な事故等や悪度を記載する。 通行される方が転倒により怪傷・骨折する。
安全性向上効果	※対策を実施することによる具体的な安全性向上効果を数値等で記載する。 2段手摺や注意喚起シールを貼ることにより転倒防止効果が得られる。
担当部署	運輸部

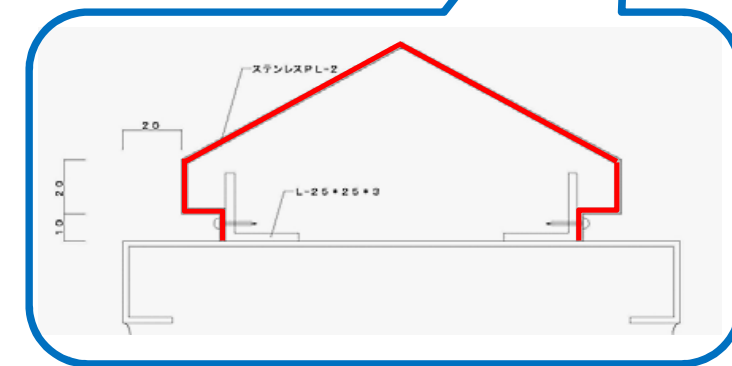
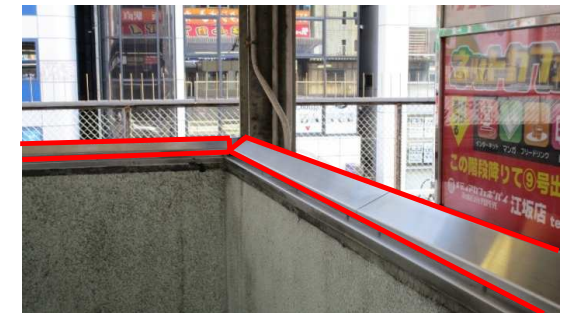
### 階段パラペット部の改造について 気づきの発信者：駅職員

平らな部分に靴やペットボトルなどが置かれ、階段下に落下することでお客さまが怪我をしたり、衣服をよごしたりする恐れがあるので、下記の写真・図面のような構造の屋根を取り付け、危険回避の未然防止を行いました。

改善前



改善後





# 安全管理体制

## 安全確保に関する各種取組

4月	地下鉄工事安全週間 春の全国交通安全運動
5月	
6月	触車事故防止週間 感電事故防止週間
7月	全国安全週間 安全運転推進運動 技術三部合同情報伝達訓練
8月	サービス向上運動 建築安全大会
9月	秋の全国交通安全運動 触車事故防止週間
10月	全国労働衛生週間 地下鉄・ニュートラム安全運行強化週間 総合訓練（避難誘導編） 総合訓練（施設・車両復旧編）
11月	車両火災予防運動 車内案内放送コンテスト
12月	年末年始の輸送等に関する安全総点検 安全講演会 （工務部）業務研究発表会 電気技能競技会 建築安全大会 安全に関する取組み発表会
1月	電気工事における安全大会 運転技能競技会 年末年始の輸送等に関する安全総点検
2月	電気部安全報告会
3月	車両火災予防運動 （電気・機械）業務研究発表会

黒文字・・・国が発信する安全に関する取組み  
青文字・・・全局的に実施する取組み  
赤文字・・・各々が実施する取組み

### 安全に関する 取組み発表会

2014年12月22日

予選会を勝ち上がった各部の代表者による取組みの発表があり、他の所属の業務や取組みを知るなどの共有化を図り、最も優秀であった所属に対して、表彰を行いました。

また国や他鉄道事業者に審査員として多数ご参加いただくとともに、九州旅客鉄道株式会社の現場職員による特別発表を行っていただきました。



### 電気部 安全報告会 2015年2月20日

安全に係る取組み（ヒューマンエラーの防止、事故・トラブルの再発や未然防止のための取組み、不安全要素への対応など）を各所属が報告することにより、部全体の安全に対する気づきや意識の向上を目指しています。



### 車両部 止水鉄扉取扱い・止水堰取扱い訓練

2014年5月12～15日 緑木検車場  
2014年5月28日 大日検車場



### 車軸不回転復旧訓練

2014年10月～12月  
6検車場で実施



### 建築部 建築安全大会 2014年8月21日、12月18日

請負工事及び委託作業における災害や事故等の未然防止のため、受注者等とともに安全への取組みをおこなっています。





# 安全管理体制

## 総合訓練

1993年のニュートラム住之江公園車止め衝突事故を教訓とし、不測の事態に迅速に対応できる体制を確立し、各部合同で消防及び警察等の協力を得て、異常時におけるお客さまの安全を守ることを目的に訓練を実施します。

### 避難誘導編（11月1日（10月31日終電後））

（想定）堺筋線 下り堺筋本町駅出発直後、3両目付近の車内のお客さまの持ち物から出火、異常に気付いた担当車掌が非常スイッチを操作し列車は一部ずい道内に入道して緊急停止、車内にご乗車の客さま90人の内10人が発煙などの影響により負傷しました。

（参加）交通局 170名  
大阪府警 20名  
大阪市消防局 13名



心肺停止状態のお客さまに対する心肺蘇生法及びAED取扱い状況



消防隊による救助活動



負傷者を救護誘導



車内からずい道内を避難



障がいのある方の避難介助

施設・車両復旧編（10月28日）東吹田検車場  
（想定）列車が走行中に地震が発生、その影響により最後尾車両が脱線し、地上施設を損傷させて、走行不能になり停止しました。

（参加）交通局128名



脱線した車両復旧のためのジャッキの設置



脱線した車両の移動



損傷した架線の補修状況



損傷したまくらぎの交換状況  
（道床碎石掘削状況）



損傷したまくらぎの交換状況



損傷した信号ケーブルの交換状況



# 安全管理体制

## 安全講演会

2014年12月に、安全講演会を開催しました。  
他事業者から講演講師を招き、他社の安全の取組み等の紹介があり、安全管理の重要性について意識の向上を図りました。

2014年12月25日

講師 西日本旅客鉄道株式会社 常務技術理事安全研究所所長 河合 篤氏

テーマ ヒューマン・ファクターの理解と活用

- (1) 「本人、チーム・組織、お客さまに着目した研究例」
- (2) 「不安全行動の種類と背景」
- (3) 「ヒューマンファクターとヒューマンエラー」
- (4) 「尼崎列車脱線事故と安全管理規定」
- (5) 「過去の事故に学ぶヒューマンファクター」



## 車内案内放送コンテスト 2014年11月5日

基本放送や異常時の放送等、車内案内をテーマに日頃培った技術を披露するコンテストを開催しています。



## 運転技能競技会 2015年1月27日

基本動作の重要性を再認識し、日常業務における運転技術の技量及び知識の向上を目的として競技会を開催しています。乗務所ごとに実車において運転操作及び基本動作の試験による選抜を行い、上位成績者で運転知識を競います。技能と知識を兼ね備えた優良乗務員を表彰することで、士気の高揚及び運転技能の向上を目指します。





# 安全管理体制

## 電気部 電気技能競技会

日頃の保守業務の質を向上させる事を目的として、お互いの技能を評価する技能競技会を開催しています。

2014年12月1日（弱電の部）・・・転てつ装置整備作業

2014年12月3日（強電の部）・・・電気室の高圧スイッチの故障復旧作業



弱電の部



強電の部



## 工務部 業務研究発表会 2014年12月5日

一年間の業務の成果をとりまとめて発表するとともに、それを聴講することを通じて、各職員の技術継承の一つの取組みとし、かつ所属のレベルアップに寄与することを目的として開催しています。



## 風通しの良い職場づくりに向けて

### （職員と経営層とのコミュニケーション）

経営管理層は、監査・各種研修・一斉点検・ミーティング時等に、現場に出向き積極的に意見交換を行うなど現場職員の生の声を聞き、コミュニケーションを深め、風通しの良い職場づくりに努めています。

### 局長の現場でのコミュニケーション



自主監査での訓示及び意見交換



総合訓練での総評

### 安全統括管理者の現場でのコミュニケーション

#### 乗務所での巡視



巡視後の意見交換



駅での意見交換